



一日も早く
平穏な日常が
戻りますように
・
・



発行元・編集：山本辰哉 E-mail：mttatsu1@gmail.com

URL：tatsuya-yamamoto.net

皆さんこんにちは。岩国市議会議員の山本辰哉です。
新型コロナウイルスの感染が終息しない中、緊張感の解けない毎日が続いています。
一刻も早い終息を願いつつ、新型ウイルスと共生する為の新しい生活スタイルも考えて
いかなければならない状況です。先ずは一刻も早いワクチンの開発が期待されると
ころでございます。

質問と答弁

☆「飼い主のいない猫の殺処分ゼロを目指す取り組み」が事業化された
事について（環境保全課）

飼い主のいない猫対策の事業化内容を問う

不妊手術に一万円、去勢手術に五千円助成する

Q これまで足掛け5年、担当課に提案してきた本件であるが、このたび新年度予算
に計上され晴れて事業化の運びとなった。この数年、担当課では現状の把握から
事業計画に至るまで大変苦慮したことは承知している。そして最終的に殺処分を
なくす為には、野良猫を減らすという概念ではなく、これ以上増やしてはならな
いという結論に達し今回の施策に繋がったものと考えている。そこで本事業の内
容について、その詳細をお示し頂きたい。

A 動物愛護法の趣旨に基づき、飼い主のいない猫による被害軽減と殺処分される猫
を削減するとともに、市民に動物愛護と適正管理を啓発し、人と猫との共生社会
の実現を図ることを目的として飼い主のいない猫に不妊・去勢手術を受けさせる
個人に対し、手術費用の一部を助成する「岩国市飼い主のいない猫不妊・去勢手
術費助成金」制度を令和2年7月から実施する。内容としては、助成額は飼い主
のいない猫1匹につき不妊手術一万円、去勢手術五千円とし、助成対象者は市内に
住所を有するものとし、対象となる猫は市内に生息する概ね6ヵ月齢以上で

特定の飼い主がいないと認められる猫とする。また、市内協力動物病院で手術をしたのち、自己飼養又は適正飼養者への譲渡をすることを条件としている。

・地域猫について（環境保全課）

地域猫とはどういった猫を指すのか？

餌やりなど地域で飼育管理方法が明確化された野良猫を指す

Q 広島県や島根県など地域猫に特化した施策が目立つが、本市においてはこれまで地域猫として登録された例はないと伺っているが、そもそもこの地域猫とはどういった猫を指すのかを伺う。

A 地域住民と飼い主のいない猫との共生を目指し、地域に合ったルールによる飼育管理方法を明確にし、エサやふん尿の管理、不妊措置を行ったり新しい飼い主を探して飼猫にしていくことで、将来的に飼い主のいない猫をなくしていくことを目的とした活動と定義されており、最終的に飼猫だけにしてゆくための過程のひとつと考えている。市としても、この地域猫活動を推進するために、啓発パンフレット等を窓口に設置し相談等に当たっている。また、飼猫についても、終生飼養や室内飼い・不妊措置の推奨等、適正飼養の啓発を図ってまいる。

☆SDGs（エスディージーズ持続可能な開発目標）の取り組みについて（政策企画課）

岩国市として今後どのような事に重点を置くのか構想を伺う

まずは市が作成する計画とSDGs目標との関連性を職員に周知していく

Q 2015年9月、国連サミットで採択されたSDGsは193の国連加盟国が2016年から2030年の15年間で、誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現させるための、貧困、飢餓、環境問題などを含む17の国際目標である。その理念を本市に置き換えるなら「岩国市民を誰一人取り残さない、持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現させるための目標」と言える。岩国市として、今後どのような事を重点的に取り組んでいくのかお示し頂きたい。

A 市が作成する計画においてSDGsの目標との関連性を整理することで職員への周知を図っている。令和2年度から令和4年度までの「まちづくり実施計画」の策定では、各所属から事業がどの目標の達成を目指すものかという視点も含めて検討し要求することで、庁内のSDGsに対する理解を深めている。

徒然記

新型コロナウイルスの感染防止対策で、現在も多くの行事が延期や中止になっています。「栄冠は君に輝く」が聞こえない夏・・・どうか一日も早く平穏な日常が戻りますように。



☆心の川柳 先人も 耐えて繋いだ この時世